

設計統合支援システム

設計維新

多品種
少量生産

リードタイム
1
1000

受注数の
拡大!

製品コストの **90%** を決めるのは **設計** です



設計・製造をとりまく問題点は…… **高コスト化、リードタイム長期化**

営業情報、設計情報の乱れ
設計管理の不足
(設計者まかせの設計、過去データの活用が不十分)
設計思想の欠如

手戻りの発生 設計変更 発注遅れ
納期遅れ 部品数の増加
材料費アップ 資材調達工数増
製造工数増 管理費増

設計維新

は設計方式の統一化のステージを提供します

営業

製品
仕様

設計維新

設計技術の標準化

設計
図書

製造

資材

生産管理

他部門との **効率的な連携**が
可能になります!

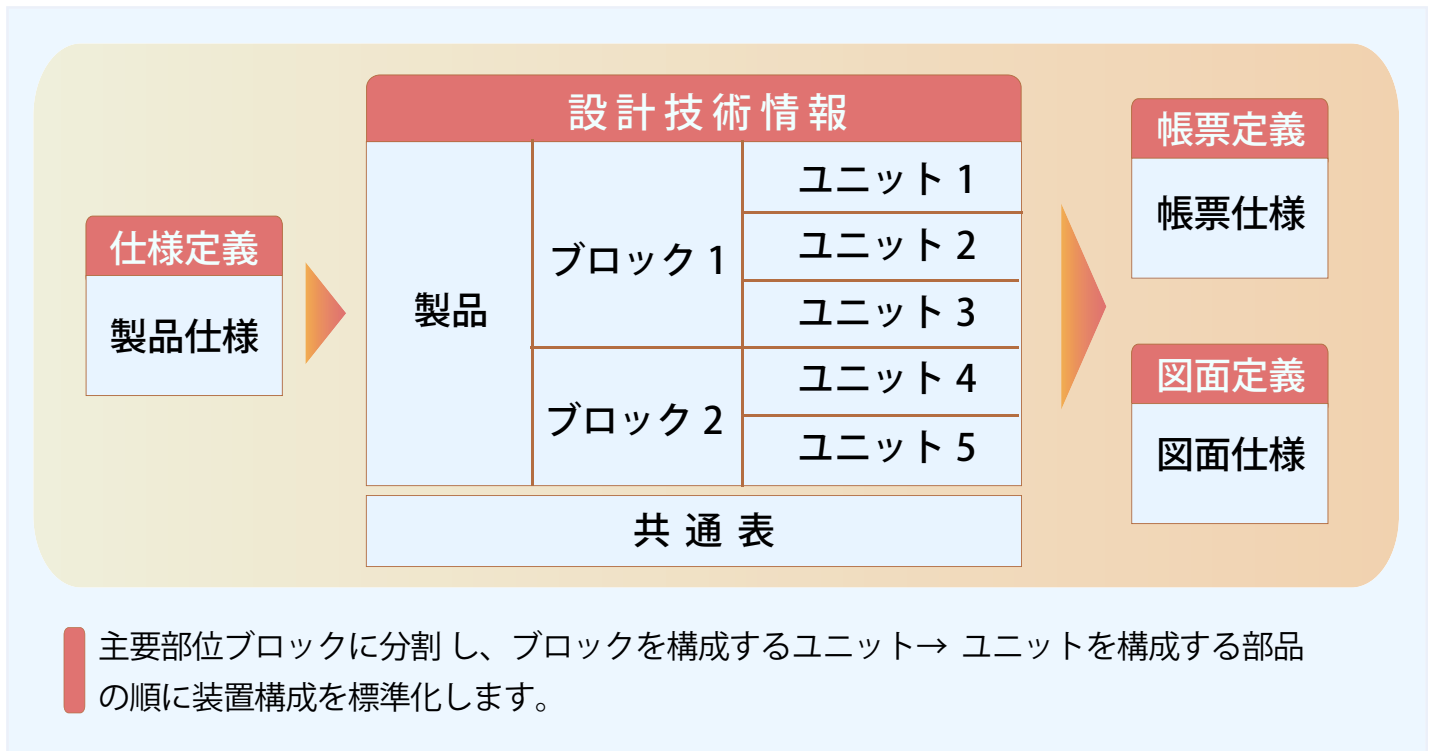
部品数の削減!
資材コストダウン!
製造コストダウン!



一気通貫生産方式の実現!

設計維新 データ構造

装置構成の明確化は標準化の第一歩であると同時に、設計思想の統一化を促進します。



設計維新 導入プロセス



【お問い合わせ先】



株式会社ネクストサイエンス

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町 1-3-5

TEL 06-6949-4555

WEB <http://www.nextscience.co.jp/>



“製品の本質”の追求から生まれた 「自動設計システム」

設計効率化の問題点

設計者の意識

- 過去図面の流用は困難で「受注毎の設計にならざるを得ない」
- 類似のものを探すより「描いた方が早い」
- 他人の図面は「使いたくない」



設計効率化の実現には“製品の本質” の追求が必要です！

“製品の本質”の追求

- 製品特性を明確化すること
- 製品構造の成り立ちを解明すること
 1. 製品の構成レベル(階層)を分析する
 2. 変化に対して「固定」「変動」「組合せ」の部分の解明する

新構造の完成

- 標準化が実現され「組合せ設計」が可能な新構造が出来上がります



設計維新は

変化に対応した“プログラムレス” 設計環境を実現しました

新しい設計環境の効果

- | | |
|---------------|-------------------|
| ■ 設計リードタイムの短縮 | ■ 安定した品質の供給が可能 |
| ■ 仕様変更に対応 | ■ 設計者だけでメンテナンスが可能 |
| ■ 短期間での新製品の開発 | ■ 営業部門での見積設計が可能 |

設計者の皆さんの“ステージアップ”
を応援します

プログラムレス設計環境

設計技術情報

製品	ブロック 1	ユニット 1	帳票仕様
		ユニット 2	
		ユニット 3	
	ブロック 2	ユニット 4	図面仕様
		ユニット 5	
共通表			

技術部門

メンテナンス



自動設計

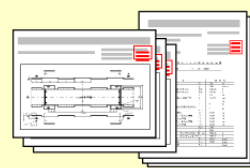
設計仕様
入力



設計値の確定

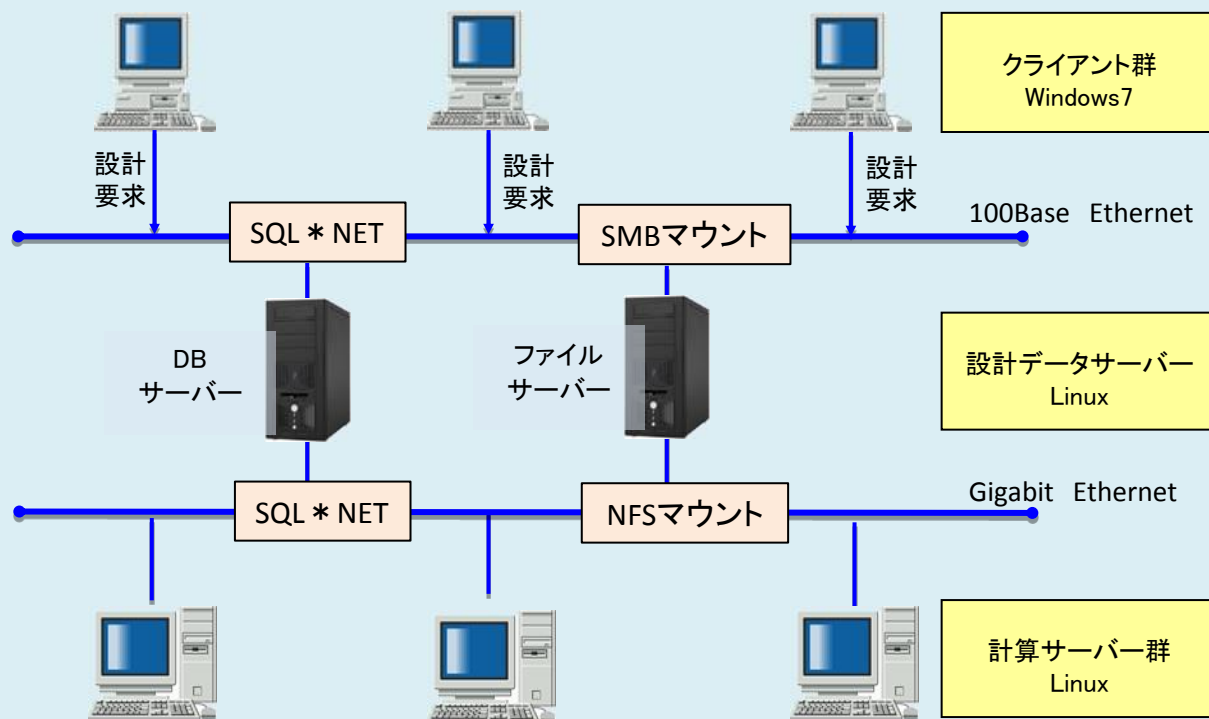
設計図書作成

設計図書の出力



システム構成例

※小規模、中規模、大規模、様々なシステム環境に柔軟に対応します



複数の計算サーバーで設計を負荷分散します

【お問い合わせ先】



株式会社ネクストサイエンス

大阪市中央区内本町1-3-5 クロスロード内本町10F

TEL 06-6949-4555

WEB <http://www.nextscience.co.jp/>